

第2期

# つくば市 教育プラン

平成28年度 ~ 平成32年度

~ 教育日本一を目指して ~



未来をひらく、やさしく、しなやかで、たくましい

● ● ● ● ● 幼児・児童・生徒の育成 ● ● ● ● ●

## 目次

第1章 つくば市教育プランについて.....	2
第1節 計画策定の趣旨.....	2
第2節 計画の位置づけ.....	2
第3節 計画期間.....	2
第4節 計画の対象.....	2
第5節 第1期計画の成果と今後の課題.....	3
第2章 第2期つくば市教育プランの目指すもの.....	14
第1節 計画の基本理念・目標.....	14
第2節 計画の体系.....	16
第3章 施策の展開.....	18
基本方針1 未来に羽ばたく力を育む.....	18
施策1 確かな学力とつくば次世代型スキルを育む教育の充実.....	18
施策2 幼児教育の充実.....	23
基本方針2 豊かな心と健やかな体を育む.....	24
施策1 豊かな心を育む教育の充実.....	24
施策2 健やかな体の育成.....	27
基本方針3 だれもが輝く教育を推進する.....	29
施策1 一人一人のニーズに対応した教育の推進.....	29
施策2 教育相談体制の充実.....	31
基本方針4 信頼される教職員を育成する.....	32
施策1 教職員の資質能力の向上.....	32
施策2 教職員が子供と向き合う時間の確保.....	34
基本方針5 教育環境を充実する.....	35
施策1 学校施設・教育用備品等の充実.....	35
施策2 学校の安全体制の確立.....	38
施策3 学校等の適正配置.....	40
施策4 学校給食の充実.....	41
基本方針6 学校・家庭・地域の連携・協働による教育を推進する.....	42
施策1 地域の人材と協働した学校づくり.....	42
基本方針7 つくばの特性をいかした教育を推進する.....	44
施策1 つくばの特性をいかした教育の推進.....	44
第4章 計画の推進.....	49
第1節 計画の推進体制.....	49
第2節 計画の進行管理.....	49
第5章 資料編.....	52
1 懇談会要項と委員名簿.....	52
2 策定経過.....	53



# 第1章 つくば市教育プランについて



- 第1節 計画策定の趣旨
- 第2節 計画の位置づけ
- 第3節 計画期間
- 第4節 計画の対象
- 第5節 第1期計画の成果と今後の課題



# 第1章 つくば市教育プランについて

## 第1節 計画策定の趣旨

---

本市では、平成 23 年度に「つくば市教育振興基本計画」（以下「第 1 期計画」という。）を策定し、「未来をひらく、やさしく、しなやかで、たくましい、幼児・児童・生徒の育成」を基本理念に、本市教育の振興に取り組んできました。

この間、少子高齢化やグローバル化、高度情報化の進展等社会が激しく変化しており、子供たちが自立し、社会で協働していくための能動的・主体的な力である「社会を生き抜く力」を確実に伸ばしていくことが必要であり、教育の果たす役割が今後一層、重要となっています。

このような中、第 1 期計画が計画期間の 5 年を経過することから、平成 28 年度を初年度とする「第 2 期つくば市教育プラン」（以下「本計画」という。）を策定するものです。

本計画では、教育を取り巻く社会の動向や第 1 期計画の成果や課題等を踏まえ、平成 28 年度から 5 年間に重点的に取り組むべき施策を明らかにし、本市教育の一層の推進を図ります。

## 第2節 計画の位置づけ

---

本計画は、教育基本法第 17 条第 2 項に基づき、国の第 2 期教育振興基本計画及び県のいばらき教育プランを参考にし、本市の実情に応じた教育を振興するための基本的な計画です。

また、「つくば市未来構想」及び「つくば市戦略プラン」との整合を図り定めた、本市の教育分野における計画となっております。

## 第3節 計画期間

---

本計画は平成 28 年度を初年度とし、平成 32 年度を目標年度とする 5 か年計画とします。

## 第4節 計画の対象

---

本計画は、義務教育段階における学校教育を中核としたものであり、幼児・児童・生徒を主な対象とするものです。

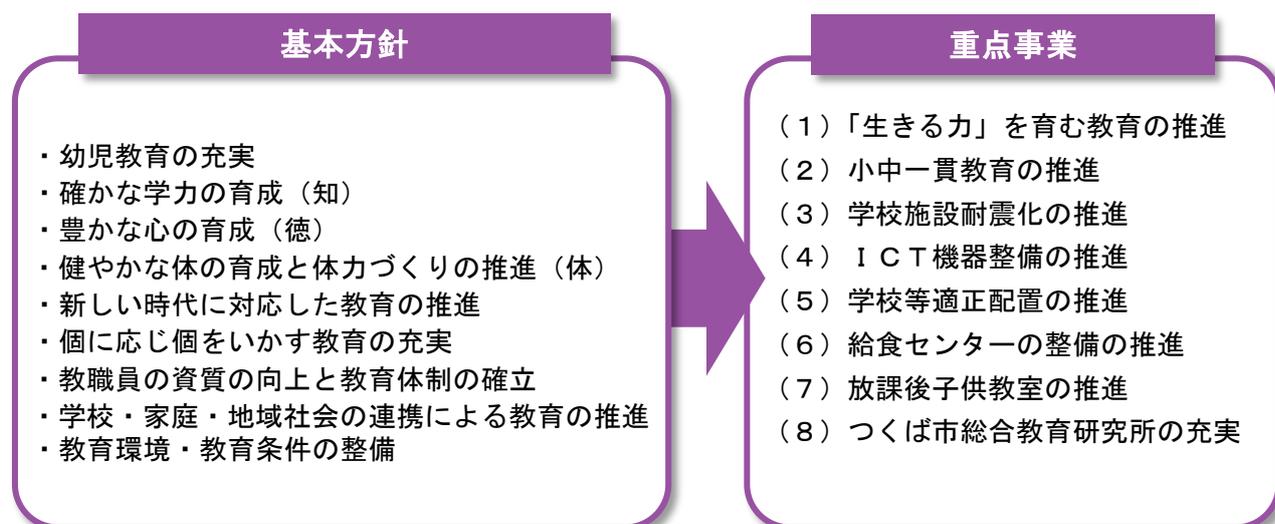
## 第5節 第1期計画の成果と今後の課題

第1期計画では、「未来をひらく、やさしく、しなやかで、たくましい幼児・児童・生徒の育成」を基本理念に、次代のつくば市を担い、未来を切りひらく、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を図るとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進しました。

また、本市では、「みんなの誇り、教育日本一のまち つくば みんなで育てよう、夢・感動のある教育を」をスローガンに掲げ、教職員一人一人及び行政・家庭や地域社会が連携・協力しながら、基本理念の実現に向け取り組んできました。

主な取組と成果として、平成24年度に、つくば市独自のカリキュラム「つくばスタイル科」を創設し、市内全小中学校において小中一貫教育を本格的にスタートしました。また、ICTを効果的に活用した教育を推進し、子供たちの主体的・協働的な学びや学力の向上に取り組んできました。21世紀を生きる子供たちに求められる力を育むため、つくば市ならではの先進的教育を実践しました。

第1期計画は、次の9つの基本方針と5年間で特に重点的に取り組むべき8つの重点事業を定め、総合的かつ計画的に推進しました。



以下に8つの重点事業の成果と課題を考察します。

### (1) 「生きる力」を育む教育の推進

「生きる力」を育むために、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成のための指導の充実を図り、特色ある次世代型の教育を構築していくことを重点事業としました。

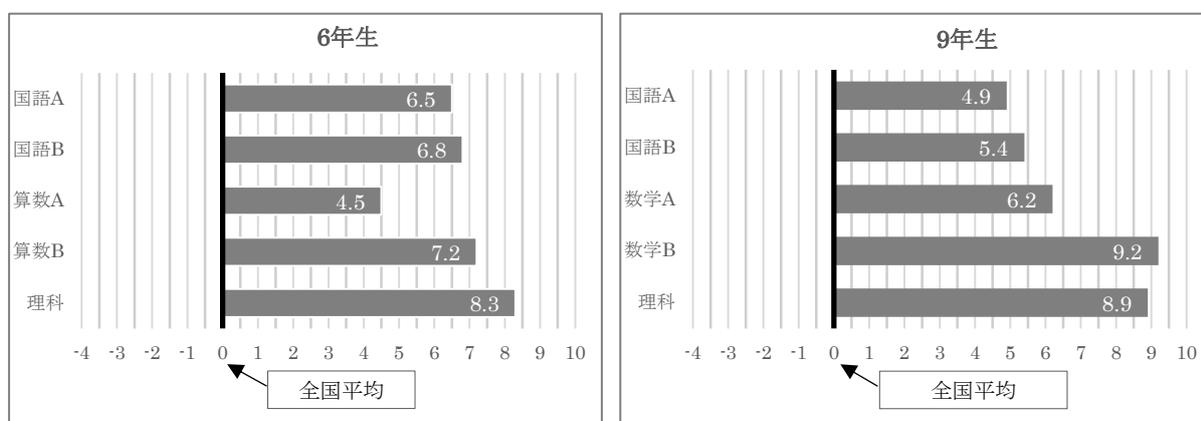
子供たちが知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身に付けることができるよう、つくばならではの特色ある教育活動を展開しました。

つくば次世代型スキルの育成等，新しい時代に対応した教育を推進するために，平成24年度より文部科学省の特例校の指定を受け「つくばスタイル科」を創設しました。この「つくばスタイル科」は，「環境」「キャリア」「歴史・文化」「健康・安全（防災）」「科学技術」「福祉」「豊かな心」「国際理解」の内容を子供たちが問題解決的な手法で学習し，21世紀型スキル（「つくば次世代型スキル」）を獲得していくもので，つくば市・筑波大学・インテル（株）の産官学連携で誕生したカリキュラムです。

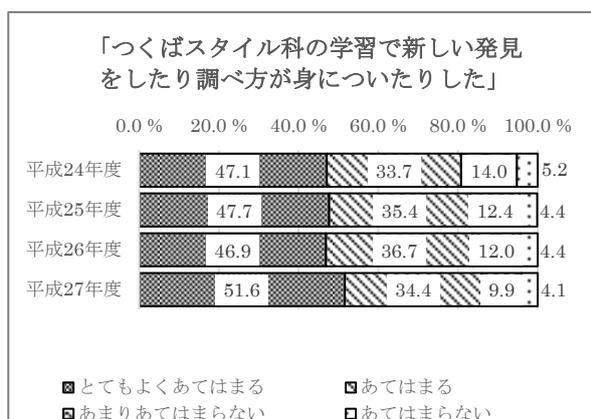
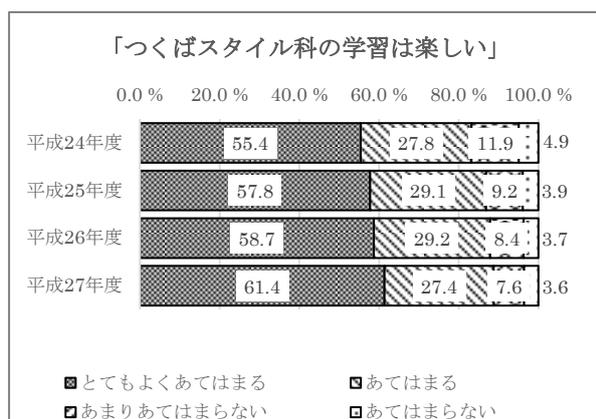
確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成，すべてにおいて，以下の図表等に見られるように着実な成果が見られます。

### ＜確かな学力の成果＞

全国学力・学習状況調査（平成27年度）におけるつくば市平均と全国平均との差



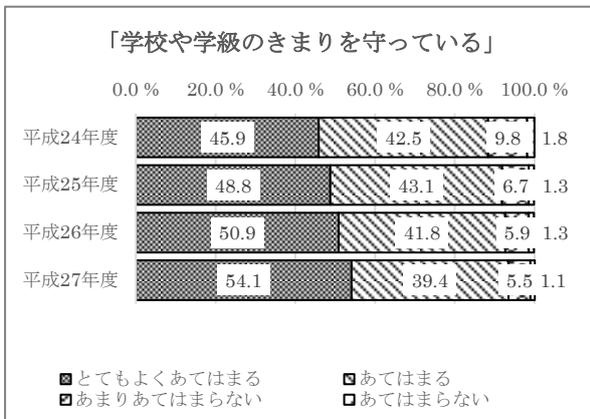
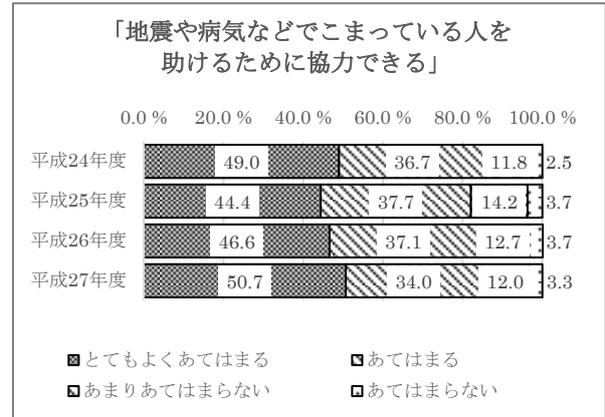
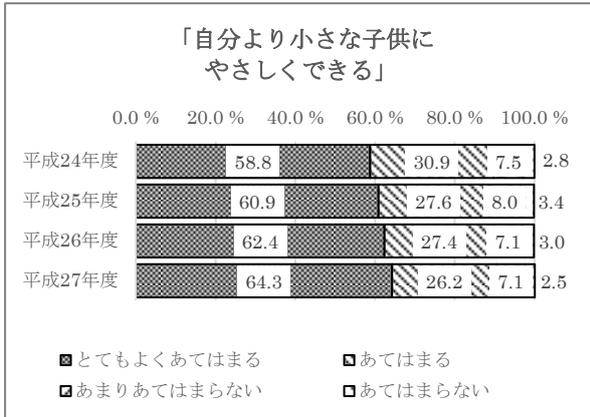
平成27年度の全国学力・学習状況調査（6年生，9年生）について，つくば市の平均と全国平均の差を示したものです。6年生では，国語Aで6.5点，国語Bで6.8点，算数Aで4.5点，算数Bで7.2点，理科で8.3点，合計で33.3点全国平均を上回っています。9年生では国語Aで4.9点，国語Bで5.4点，数学Aで6.2点，数学Bで9.2点，理科で8.9点，合計で34.6点，全国平均を上回っています。小中学校ともに，正答率が全国トップクラスでした。



小中一貫教育に関するアンケート 総合教育研究所（平成28年3月）

児童生徒への小中一貫教育に関するアンケートにおいて，「つくばスタイル科の学習は楽しい」は88.8%，「つくばスタイル科の学習で新しい発見をしたり調べ方が身についたりした。」は86.0%となっています。

＜豊かな心育成の成果＞

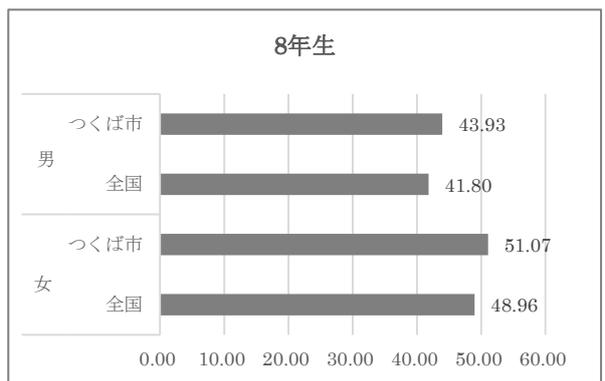
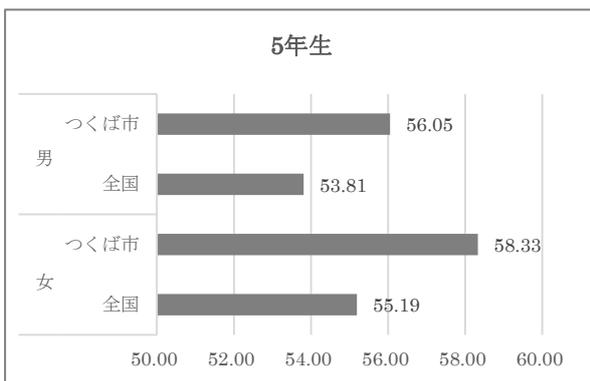


児童生徒への小中一貫教育に関するアンケートにおいて、「自分より小さい子供にやさしくできる。」は90.5%、「地震や病気などでこまっている人を助けるために協力できる。」は84.7%、「学校や学級のきまりを守っている。」は93.5%となっています。

小中一貫教育に関するアンケート 総合教育研究所（平成28年3月）

＜健やかな体の育成の成果＞

全国体力・運動能力、運動習慣等調査（平成27年度）における得点合計（平均）の比較



平成27年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、つくば市の平均値は全国平均を上回っています。

子供たちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成が図られ、「生きる力」を育む教育を着実に推進することができました。

一方、アメリカの学者が、あと 10 年で、世の中の 65%の仕事がなくなると警鐘を鳴らしています。変化の激しい社会をたくましく生き抜くためには、確かな学力をしっかりと定着させるとともに、学んだ知識や技能を活用し課題を解決するための思考力、判断力、表現力等つくば次世代型スキルを育成していく必要があります。それと同時に、子どもたちが生きることの尊さを実感し、豊かな心を持ち、主体的に生きていくことができるようにするためには、自分の大切さに気付き、自分を価値ある存在として尊重し認める気持ち（自尊感情）を育む必要があります。

今後のグローバル社会をたくましく生き抜くための、確かな学力、豊かな心、健やかな体、つくば次世代型スキルをバランスよく育み、地域や世界で活躍する人材の育成を推進していきます。

### 第 1 期計画に係る指標目標

第 1 期計画の指標項目	第 1 期計画策定時の実績 (平成 23 年 3 月)	平成 27 年度末 の目標値	平成 27 年度末	
			実績値	達成状況
放課後学習チューター参加生徒数	14,533 人 (平成 21 年度)	27,000 人 (平成 27 年度)	27,282 人	達成
次世代環境教育カリキュラム導入校	6 校 (平成 22 年度)	53 校 (平成 27 年度)	全校	達成
次世代キャリア教育カリキュラム導入校	3 校 (平成 22 年度)	53 校 (平成 27 年度)	全校	達成

第 1 期計画に係る指標目標は全項目で達成となっています。

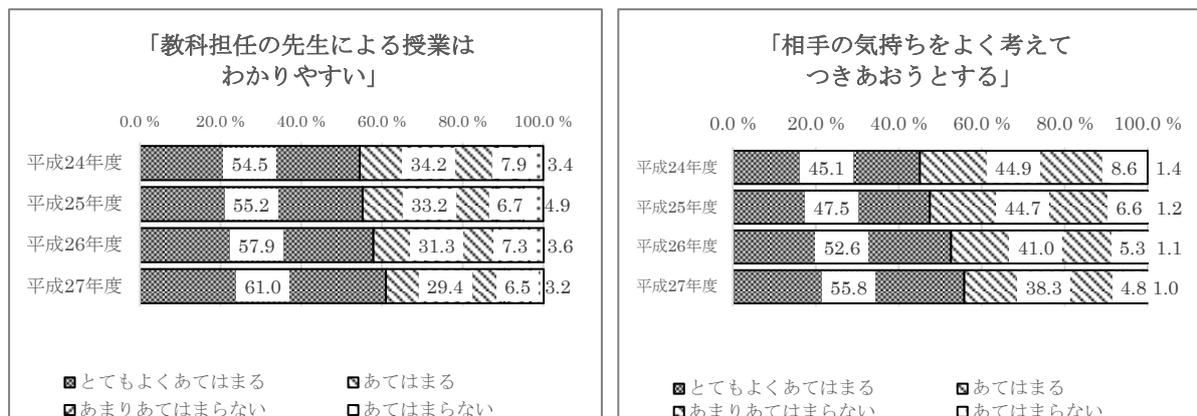
## (2) 小中一貫教育の推進

本市では、平成 19 年度から小中一貫教育に取り組み、平成 24 年度には施設一体型小中一貫教育校である「春日学園」が開校すると同時に、県内で初めて、市内全小中学校を 15 学園として、小中一貫教育を完全実施しました。これにより、これまでの 6-3 制の大きな弊害である「中 1 ギャップ」の解消に向けて取り組んできました。

具体的な取組として、「4-3-2 制」による児童・生徒が主体的に活躍できる教育課程の創造、「小学校高学年教科担任制」の導入による学力向上、「学園内小中学校の交流」による 9 年間の学びの連続性の実現、「大学・研究機関・地域との連携」による教育資源の活用等の事業を行ってきました。

その成果として、以下の図表に見られるように学習面だけではなく、子供たちの心の育ちも年々高まってきました。

＜小中一貫教育の成果＞



小中一貫教育に関するアンケート 総合教育研究所（平成28年3月）

児童生徒への小中一貫教育に関するアンケートでは、「教科担任の先生による授業はわかりやすいですか」という問いに対して90.4%が肯定的な回答でした。また、94.1%が「相手の気持ちをよく考えてつきあおうとする」と回答するなど、学習面だけではなく、子供たちの心の育ちも年々高まってきました。

平成25年度には、「第8回小中一貫教育全国サミット in つくば」を開催し、3学園の授業公開、全体会、分科会を行い、これからの小中一貫教育のあり方について、全国からの参加者（約3,000人）とともに活発な協議が行われました。つくば市の小中一貫教育について、教育関係者や文部科学省から高い評価をいただきました。



平成25年に開催した「第8回小中一貫教育全国サミット in つくば」

平成28年4月から施設一体型小中一貫校の春日学園が義務教育学校となり、より一層、子供たちの発達に応じた効果的な教育を展開することが期待できます。施設一体型の義務教育学校については、平成30年までに3校を設置し、引き続き計画的な整備を検討していきます。

施設分離型小中一貫校については、テレビ会議やグループウェアなどのICT機器を効果的に活用し、校舎間の移動距離・時間などの課題に対応しながら、施設一体型と同じような教育効果を上げていきます。

学園の児童生徒の実態を踏まえた系統的なカリキュラムにより、学びの連続性を意識した教育活動を展開していきます。

## 第1期計画に係る指標目標

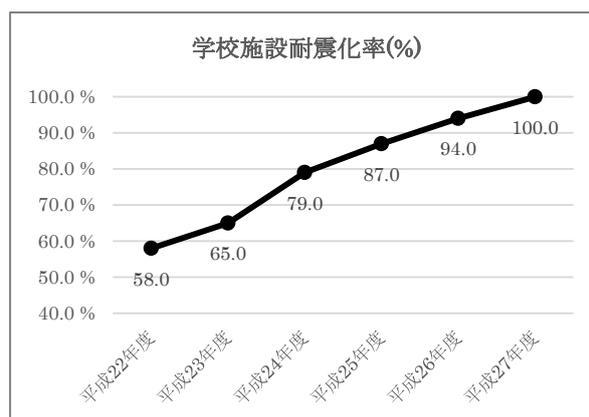
第1期計画の指標項目	第1期計画策定時の実績 (平成23年3月)	平成27年度末 の目標値	平成27年度末	
			実績値	達成状況
小中一貫教育の実施中学校区数 (小中連携教育は現在100%実施)	3中学校区 (平成22年度)	15中学校区 (平成27年度)	15中学校区	達成
小学校における教科担任制の実施率 (小学校5,6年生の国語,社会, 算数,理科の2教科以上)	43.20% (平成22年度末)	80.00% (平成27年度末)	100%	達成

第1期計画の指標目標は達成となっています。

### (3) 学校施設耐震化の推進

子供たちが、安心・安全に園や学校で活動できるとともに、非常災害時に地域住民の応急避難場所として役割を果たせるよう学校施設の耐震化の推進を重点事業としました。

平成27年度までに耐震化率100%を目指して整備を進めており、統合等の計画がある施設以外については、平成27年度中に耐震化工事が全て完了しました。



教育施設課 (各年3月31日)

## 第1期計画に係る指標目標

第1期計画の指標項目	第1期計画策定時の実績 (平成23年3月)	平成27年度末 の目標値	平成27年度末	
			実績値	達成状況
学校施設耐震化率	58.00% (平成22年度末)	100% (平成27年度末)	100%*	達成

第1期計画に係る指標目標は達成となっています。

\*統合等の計画がある施設以外

#### (4) ICT機器整備の推進

わかる楽しい授業の実現やこれからのグローバル社会で活躍するために必要なつくば次世代型スキルの育成のためにICT機器を活用した教育を推進するとともに、教職員が子供と向き合う時間を確保できるよう校務事務の効率化を図るための校務支援用パソコンの導入などICT機器の整備を推進することを重点事業としました。

子供たちが利用する教育用コンピュータを全校のコンピュータ教室に整備するとともに、機器入れ替え時には、より効果的に活用できるようタブレット化を進め、平成26年度末には全コンピュータの約9割がタブレットとなっています。また、全校に電子黒板をあわせて整備しました。

教職員が利用する校務用コンピュータは、平成26年度末で100%の導入率を達成し、校務の効率化により、教職員が児童生徒と向き合う時間の創出を図りました。

また、東日本大震災でも活用した家庭学習支援システム「つくばオンラインスタディ」や電子黒板を活用した「デジタル教科書」の導入等、わかる楽しい授業を実現するための学習環境整備を推進してきました。

平成27年度には、「つくば市ICT教育研究大会」と「つくば市ICT教育全国首長サミット」を同時開催し、全国から首長を含む行政・教育関係者3000人を超える参加がありました。全国トップクラスのICT教育推進都市として、文部科学省や総務省からも高い評価を受けました。

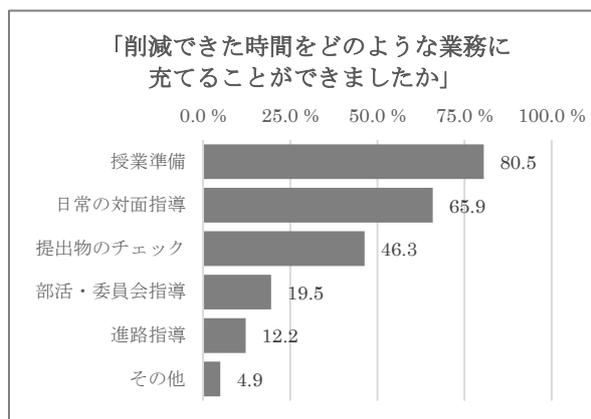
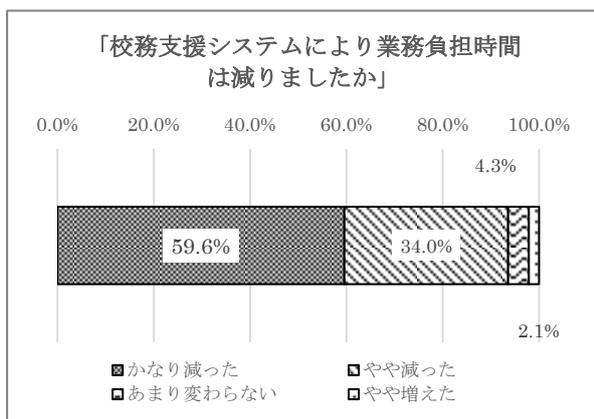


平成27年11月に開催した「つくば市ICT教育全国首長サミット」

一方で、児童生徒数の増加やICTを活用した学習機会が増え、教育用コンピュータや電子黒板の配備台数が十分な状況とは言えません。国の目標値であるコンピュータ1台あたりの児童生徒数を3.6人に、電子黒板等を1学級あたり1台に、計画的に近づけていかなければなりません。そして、コンピュータ室だけでなく教室や野外で子供主体の問題解決型学習に活用できるように、校内ネットワークを整備し、現在の10Mのインターネット回線を高速化する必要があります。また、校務用コンピュータを整備しましたが、より一層の校務の効率化を図り、教員が児童生徒に向き合う時間を確保するためには、校務支援システムを計画的に整備する必要があります。

#### つくば市のICT機器整備状況

	平成27年度の状況	国の目標値
教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	7.7人	3.6人
電子黒板等の設置状況	2.5学級あたり1台	1学級あたり1台
校務用コンピュータの導入率	100%	100%



校務支援システム導入校（春日学園）へのアンケート調査 教育総務課（平成 28 年 1 月）

校務支援システムを試験的に導入している春日学園の教職員に対する校務の情報化による時間削減と業務改善に関するアンケートでは、業務負担時間については、47 名中 28 名（59.6%）が「かなり減った」、16 名（34.0%）が「やや減った」としており、合計で 44 名（93.6%）が、業務負担時間が減少したと回答しています。また、業務負担時間が削減できたと回答した教職員に削減できた時間をどのような業務にあてることができたかという問いについては、「授業準備」（80.5%）、「日常の対面指導」（65.9%）の割合が高くなっています。ほとんどの教員は校務支援システムの導入で削減できた時間を児童・生徒への対応に充てていることがわかります。

上記の校務支援システムに係るアンケートより、校務支援システムを導入することで業務負担時間を削減することができ、児童生徒に対応する業務に充てることができたという回答が多数ありました。

## 第 1 期計画に係る指標目標

第 1 期計画の指標項目	第 1 期計画策定時の実績 (平成 23 年 3 月)	平成 27 年度末 の目標値	平成 27 年度末	
			実績値	達成状況
校務用パソコンの導入率	50.00% (平成 22 年度末)	100% (平成 27 年度末)	100%	達成

第 1 期の指標目標は達成となっています。

## (5) 学校等適正配置の推進

子供たちが安定・安心・安全のうちに通学し、望ましい学校環境の中で学校生活を送れるよう、地域の実情を踏まえながら、学校等適正配置を推進することを重点事業としました。

「つくば市学校等適正配置計画（指針）」に基づき、つくば市北部地区の義務教育学校の整備や、桜南幼稚園と並木幼稚園の統合等を推進しました。

平成 26 年度には同計画の改訂版を策定しており、今後も同計画に基づき、事業を推進していきます。

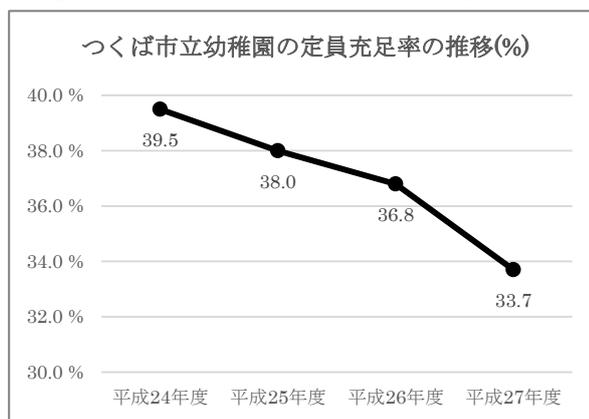
## つくば市学校等適正配置計画（指針）の学校規模の考え方と現状

	小規模校	標準規模校	大規模校
小学校	17 学級以下	18～24 学級 (学年 3～4 学級)	25 学級以上
	28 校	7 校	1 校
中学校	11 学級以下	12～15 学級 (学年 4～5 学級)	16 学級以上
	7 校	3 校	4 校
施設一体型 小中一貫校	26 学級以下	27～45 学級 (学年 3～5 学級)	46 学級以上
	—	—	1 校

小学校 36 校のうち、小規模校 28 校で、小学校数全体の約 75% で非常に高い割合となっています。中学校 14 校のうち、小規模校が 7 校で中学校数の半分となっています。また、施設一体型小中一貫校も大規模校となっています。

T X 沿線などの開発地区は学校の大規模校化が進む一方、開発地区以外の周辺地区では児童生徒数が減少し小規模校が進んでおり、大規模校と小規模校の二極化が生じております。子供たちにとってより良い教育環境を確保するため、学校の適正規模や適正配置を計画的に進めなければなりません。

市立幼稚園の園児数は減少傾向にあり、ほとんどの園で定員割れが生じています。幼稚園についても適正規模や適正配置を計画的に進めなければなりません。



学務課（各年 5 月 1 日）

幼稚園の定員に対する入園児数の割合を表した充足率のグラフです。平成 24 年度以降年々減少傾向となっています。

## （6）給食センターの整備の推進

給食施設の老朽化や児童生徒数の増加に対応し、かつ安全で安心な給食を安定して提供していくために「つくば市立学校給食センター整備基本計画」に基づき、給食センターの整備を推進することを重点事業としました。

計画に基づき「つくばすこやか給食センター豊里」を整備し、平成 26 年 4 月に供用開始しました。今後は、（仮称）新谷田部学校給食センターの整備を進めていきます。

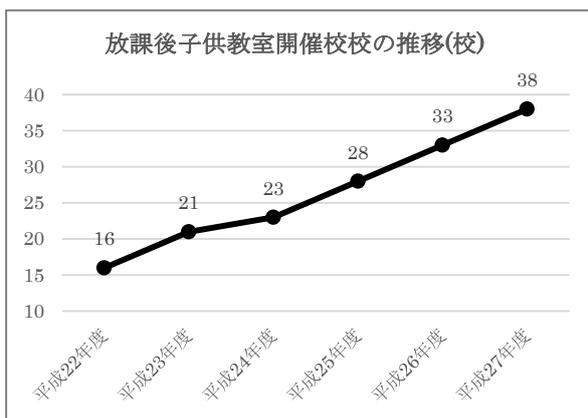
## (7) 放課後子供教室の推進

子供たちが、放課後等に安全安心な環境の中で過ごし、様々な体験活動等を通じて、創造性・自主性・社会性等を養うことができるよう、放課後子供教室を推進することを重点事業としました。

事業が円滑に推進できるようコーディネーターを配置し、平成27年度までには全部の小学校で放課後子供教室を実施しました。

全校で放課後子供教室を実施することになりましたが、全体的に実施回数が少ないので、学校・地域・家庭の連携・協力を更に深め指導体制の充実を図らなければなりません。

今後も、放課後児童クラブとの連携を図りながら、充実した事業を推進していきます。



教育指導課(各年3月31日)

### 第1期計画に係る指標目標

第1期計画の指標項目	第1期計画策定時の実績 (平成23年3月)	平成27年度末 の目標値	平成27年度末	
			実績値	達成状況
放課後子ども教室開催校数	16校(平成21年度)	38校(平成27年度)	全校	達成

第1期の指標目標は達成となっています。

## (8) つくば市総合教育研究所の充実

教職員の指導力向上や教育相談体制の充実を図るとともに、市の学校教育における諸問題の解決と教育の振興を図るために、つくば市総合教育研究所の機能を充実することを重点事業としました。

小中一貫教育やつくばスタイル科の充実、産官学の連携等、つくば市ならではの学校教育の充実のために教職員の資質・指導力の向上を目指して研修等を実施するとともに、本市の取組を全国に向けて積極的に発信してきました。

今後も、つくば市の特性をいかしながら、計画的に事業を推進していきます。



## 第2章 第2期つくば市教育プランの目指すもの



第1節 計画の基本理念・目標

第2節 計画の体系



## 第2章 第2期つくば市教育プランの目指すもの

### 第1節 計画の基本理念・目標

#### 基本理念

「未来をひらく、やさしく、しなやかで、たくましい  
幼児・児童・生徒の育成」

を基本理念として、次代のつくば市を担い、未来を切りひらく、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を図るために、教職員・行政・家庭や地域社会が連携し、

「夢・感動のある楽しい学校」

の創造を目指します。

#### 計画の目標

理念の実現のために、次の3つの基本目標と7つの基本方針を定めます。

#### 基本目標1 社会を「生き抜く力」を育む

知・徳・体をバランスよく育み、地域や世界で活躍する子供たちを育成します。

#### 基本方針1 未来に羽ばたく力を育む

- ◇幼児期から連続性をもって、「自ら学び、考え、行動する力」を身につけ、多様で変化の激しい社会を生き抜く確かな学力の向上をめざします。(知)
- ◇「つくば次世代型スキル」を育成し、これからのつくばを担い、世界で活躍するグローバルな人材を育成します。

#### 基本方針2 豊かな心と健やかな体を育む

- ◇自分も他人も大切にする心、感動する心、郷土を愛する心を育みます。(徳)
- ◇生涯にわたって、たくましく生きるために必要な健康や体力を養います。(体)

### **基本方針3 だれもが輝く教育を推進する**

- ◇子供の多様な個性や能力をいかせるよう、一人一人に目が届いたきめ細やかな支援を進めます。

### **基本目標2 教育環境の整備を図り、質の高い教育を推進する**

- 教職員の資質能力の向上と子供たちが安全・安心かつ主体的に学ぶことができる教育環境を整備します。

### **基本方針4 信頼される教職員を育成する**

- ◇質の高い教育実現のため、教職員自身が学びのスタイルを積極的に改革する「学びのイノベーション」を実現できるよう、教職員の資質能力の向上を図ります。
- ◇教職員が子供と向き合う時間を確保するため、教職員のサポート体制を充実します。

### **基本方針5 教育環境を充実する**

- ◇子供たちが安心して安全に過ごすことのできる教育環境を整備します。
- ◇子供たちの主体的な学習を保障し、「深い学び」を実現できるようICTを効果的に活用できる教育環境を整備します。

### **基本目標3 つくばの特性をいかし、社会全体で子供を育む**

- つくばの地域資源をいかし、学校、家庭、地域が連携し、社会全体で子供たちを育む体制を整備します。

### **基本方針6 学校・家庭・地域の連携・協働による教育を推進する**

- ◇学校、家庭、地域の連携協力のもと、それぞれの役割と責任を自覚しつつ、社会全体で教育に取り組む体制づくりを推進します。

### **基本方針7 つくばの特性をいかした教育を推進する**

- ◇大学、研究機関等が集積している「筑波研究学園都市」の特性や、それに伴う多彩な人材をいかした幅広い教育活動を推進します。
- ◇豊かな自然や歴史環境等の特性をいかした教育活動の展開を図ります。

## 第2節 計画の体系

基本理念 未来をひらく、やさしく、しなやかに、たくましい 幼児・児童・生徒の育成

基本目標1 社会を「生き抜く力」を育む

基本方針1  
未来に羽ばたく  
力を育む

施策1 確かな学力とつくば次世代型スキルを育む教育の充実

- 魅力ある授業の展開 ●幼保小中高の連携 ●新しい時代に対応した教育の推進
- 地域人材の活用

施策2 幼児教育の充実

- 学びに向かう力を育む幼児教育 ●幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行の推進
- 幼稚園・家庭・地域の連携による教育力の向上

基本方針2  
豊かな心と  
健やかな体を  
育む

施策1 豊かな心を育む教育の充実

- 道徳教育の推進 ●人権教育の推進 ●情操教育の推進 ●読書活動の推進
- 伝統・文化等に触れる教育の推進 ●いじめを防止する取組の充実

施策2 健やかな体の育成

- 保健体育と食育の充実 ●安全教育の充実と防災教育の推進
- 学校保健の充実 ●運動部活動への支援充実

基本方針3  
だれもが輝く  
教育を推進する

施策1 一人一人のニーズに対応した教育の推進

- 共生社会形成に向けたインクルーシブ教育の推進 ●特別支援教育の充実
- 帰国・外国人児童生徒への支援

施策2 教育相談体制の充実

- 学校教育における様々な教育問題に対する教育相談の充実 ●不登校対策の充実

基本目標2 教育環境の整備を図り、質の高い教育を推進する

基本方針4  
信頼される教職  
員を育成する

施策1 教職員の資質能力の向上

- 教職員研修の充実 ●教職員の人材育成と学校組織の活性化
- 教職員のメンタルヘルスケアの充実

施策2 教職員が子供と向き合う時間の確保

- 外部人材の活用 ●サポートスタッフの充実 ●校務の効率化の推進

基本方針5  
教育環境を  
充実する

施策1 学校施設・教育用備品等の充実

- 学校施設の計画的な整備及び施設の管理 ●教材及び管理備品の計画的な整備
- ICT環境の整備

施策2 学校の安全体制の確立

- 防犯、防災体制の充実 ●通学の安全確保 ●放課後の子供の居場所づくり

施策3 学校等の適正配置

- 学校等の適正配置 ●跡地利用の検討

施策4 学校給食の充実

- 学校給食センターの整備 ●安全・安心な学校給食の提供

基本目標3 つくばの特性をいかし、社会全体で子供を育む

基本方針6  
学校・家庭・  
地域の連携・  
協働による  
教育を推進する

施策1 地域の人材と協働した学校づくり

- 地域とともにある学校づくり ●家庭や地域の教育力の向上

基本方針7  
つくばの特性を  
いかした教育  
を推進する

施策1 つくばの特性をいかした教育の推進

- 「筑波研究学園都市」の特性をいかした教育の推進
- 伝統・文化等に触れる教育の推進